

ママをやめてもいいですか!?

2/22 sat

鑑賞料金 500円
未就学児無料



会場
かかさき市民活動センター

9:45～受付

10:00～助産院出産映像

10:15～

「ママをやめてもいいですか」

上映

12:00 終了

豪田トモ監督作品の 「ママをやめてもいいですか!?!」

ママなら一度や二度は思ったことのあるはず。
我が子は愛おしいし、かわいい。だけどたまにはママも休暇が欲しい。
一人の人間として、ママではない自分を見つめなおす時間となり、また大好きなママに戻りたくなる時間を一緒に感じてみませんか。

子育てに奮闘するすべてのママへ

大丈夫 あなたはひとりじゃない

一度でも「ママをやめた」と思ったことのあるママ

77%

笑って泣ける共感度2000%の子育てエンターテイメント映画

STORY
大切に愛おしい、だからこそ、ときどき苦しい。産後うつを乗り越えて、新たな命の誕生を迎えるママ。母の産後うつによる自死と、その傷に向き合うママ。我が子を抱きしめることができないママ... 子育てに奮闘する家族は、それぞれどんな答えを見つけ、歩んでゆくのでしょうか。

「ママをやめた」法則ならぬ「ママフィーの法則」ならぬ
一生懸命作ったご飯は某社のふりかけで美味しくなる

「ママをやめた」法則ならぬ「ママフィーの法則」ならぬ
ベッドで寝る別なベッドに寝て、10分以内にママささめる

「ママをやめた」法則ならぬ「ママフィーの法則」ならぬ
ベッドで寝る別なベッドに寝て、10分以内にママささめる

思わぬ手を打って泣いて笑って声を出して泣いてうんうんと共感しちゃい!

ママは24時間大忙し! それでも必死に家事や育児に奮闘しているママからは、大切な命を守るプレッシャーや、休めない中で、ひとり苦悩する姿なんて想像できないかもしれません。「子どもは可愛いんです。大事なんです。愛おしいんです。...でも離れたいんです」
本作は、人知れず子育てに悩み、つまずき、それでも子供を愛し、前を向くママとその家族の歩みを、涙と笑いを交えながら観た物語です。「ママの育児」は、映画にするほどでもない「ありきたりな日常」に見えるもの、しかし、そこにはかけがえのない数々の感動と奇跡、そして確かな共感に満ち溢れていました。そう、この映画は「ある家庭の物語」ではなく、育児に奮闘する「あなた」に贈る物語なのです。

本場に「やめたい」と思っているママはいます。はんのちゅっていいから、休みたいだけ、自分の時間が欲しいだけ、「ありがたう」の言葉が聞きたいだけ、それは新じて、ウガママなんかじゃありません! 時々「ママをやめた」をして心の充電をすることで、さらにさらに、子育てが輝かしくなるのが、笑顔の子どもたちが嬉しがるのです。
ママという役割をやめることはできません。だからこそ、最高に「ハッピー」子育てをするためにママの周りの人は、どうすればいいのか? 一緒に考えていきましょう! 監督 豪田トモ

映画を観たとき、一人の父親としてとても感動しました。本場にお母さんたちは頑張っている! 完璧なお母さんになる必要はありません。少しでも楽しい子育てができますように。
— 大泉洋

お申し込みは sakura7birth@gmail.com 検索 [mamamaya](#) 検索 [mamamaya](#) 検索 [mamamaya](#) 検索

お問い合わせ
(さくらバース)

sakura7birth@gmail.com
044-739-3158

申し込み→
さくらバースの
ホームページからも可能

